

項目	観点	教科書名				
		新しい保健(2・東書)	たのしい保健(4・大日本)	わたしたちの保健(207・文教社)	小学保健[208・光文]	みんなの健康(224・学研)
1 学習指導 要領の教 科の目標 を達成す るために 取り扱う 内容の選 択につい て	○心と体を一体として捉えるために、どのように配慮されているか。	・学習課題を明確に設定し、過去の生活経験や身近な事例をもとに導入部分が作成されている。 ・体の変化に伴い、心の変化もあることを常に表記されている。心の部分で悩んだときの対処法を紹介している。 ・体を守り安全に生活する必要性と心に不安なく生活するを必要性を表記している。	・学習課題を明確に設定し、過去の生活経験をもとにした場面で2つの絵で成長を比べるという導入が配慮されている。 ・心と体の相互の影響について話し合う活動をもとに、学習内容を深める資料と学習内容をまとめる活用欄により理解できるよう工夫されている。 ・「資料」で特に体ほぐしの運動の効果をとり上げ、心と体が影響し合っていることを理解できるように配慮されている。	・心の状態による体の変化と、体の状態による心の変化を詳しく取り上げ、心と体のよくない状態とよい状態における関連を分かりやすく図に示すことで、心と体を一体として捉えることができるよう配慮されている。 ・「情報コーナー」には緊張とうまく付き合う方法を掲載し、生活に生かせるよう配慮されている。	・自己の経験をイラストで具体的に思い出すことにより、心と体の関係について知り、「つかむ」でわかりやすい資料を掲示して、心と体を一体として捉えられる工夫がなされている。 ・「はってん」のコーナーで「ストレス」や「適度なストレスと心身の成長」について取り上げることで、心身を一体的にとらえられるようにしている。	・前時の学習をふり返りながら、設定するように工夫され、経験を振り返ることで興味関心を高めている。 ・心が体に影響する例と体が心に影響する例を取り上げ、心と体のつながりを具体的な資料とイラストでわかりやすく説明することで、学習活動を通して知識が深まるよう構成されている。 ・「かがくの目」で脳や神経、病原体に触れ、心と体の器官の関係を科学的に捉えられるように工夫されている。
	○健康・安全についての理解を深めるために、どのように配慮されているか。	・事故やけがの導入で、地域と学校の写真を比べやすいように並べている。事故・けがの原因を人の行動と環境の重なったところに位置させ、このことを何度も繰り返して学習することで、理解を深めるように配慮されている。 ・単元のふり返りをする中でさらに理解が深められるような配慮がされている。 自然災害、AED、熱中症等に関する内容も取り上げられている。	・事故やけがの導入で、地域と学校が一緒に関わる写真を掲載している。事故の原因を人の行動と環境に分けて出てくるが、分けて考える欄は設けていない。「もっと知りたい」で、自然災害や自転車、AEDについて触れている。 ・「ミニちしき」のコーナーでは、身近な生活に密着した事柄を取り上げ、健康や安全について確認ができるよう配慮されている。	・多くの事故のイラストを場面ごとに掲載し、そこから原因を考えさせながら、事故について理解を深めるように配慮されている。 ・交通事故、水の事故、学校生活における事故、地域の危険箇所を重点的に取り上げ、その中で、危険に気づき危険を避けるための力をつけようと配慮されている。	・事故の原因を人の行動とまわりの環境の2つに分け、さらに、人の行動を心の状態と体の状態に分けることで理解が深まるように配慮されている。 ・危険を予測し、安全な行動を考えさせることで理解が深められるように配慮されている。 ・地震や津波の自然災害に関する学習内容が充実している。	・本文中に簡潔な表現で重要事項を示し、関連する図や写真、学習のふり返りをする中でさらに理解が深められるような配慮がされている。 ・犯罪が起りやすい場所や場面、インターネットのトラブルが取り上げられていて、身を守るための内容が充実している。 ・自然災害、AED、熱中症等の内容も取り上げられている。
	○生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を養うために取り扱う内容は、どのように配慮されているか。	・健康な状態や1日の生活の仕方との関わりが、工夫されたイラストで分かりやすい。自分でチェックできる項目もあり、確認しやすい。 ・「活用して深めよう」「広げよう」で実践を促すような配慮がされている。 ・喫煙・飲酒の害の学び方では自分自身で断る項目があるが、吹き出し形式ではない。	・健康な生活を詳細なイラストとチェック方式で理解できるように工夫されている。 ・「やってみよう」「話し合ってみよう」のコーナーで自分の生活リズムを意識できるよう工夫されている。 ・飲酒・薬物の害では、断るときの言葉を考える欄がない。たばこの害で肺の写真があるが、具体的データの記載はない。	・健康とは何かをチェック方式で理解できるようにし、生活リズムのふり返りができるよう工夫されている。 ・「やってみよう」のコーナーでは一つの言葉から想像していくマッピングにより、自分のこととして考えさせたり、アスリートからのメッセージで親しみをもたせたりする工夫がされている。	・生活時間表づくりにより、自己の健康な生活をふり返る実践的活動ができる工夫がされている。 ・たくさんのイラストとチェック項目が健康を考える上でのヒントとなっている。 ・「見つけよう」「あてはめよう」のコーナーを設け健康な生活を改善していこうという意欲を高める工夫がされている。	・健康とは何かをチェック方式で示し、自分の生活リズムをふり返る実践的活動ができるよう工夫されている。 ・喫煙・飲酒・薬物防止のための「もっと知りたい」「調べたい」のコーナーが工夫され考えさせる資料が豊富である。
2 内容の程度及び取り扱いについて	＜基礎・基本の定着のための工夫＞ ○身近な生活における健康・安全に関する基礎的・基本的事項の理解を図るために、どのような工夫が見られるか。	・課題解決学習を通して、知識の習得と活用を図る構成となっている。 ・「ふり返ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「活用して深めよう」等により、基礎・基本を繰り返し活用することで、さらに定着を図るよう工夫されている。	・課題解決学習を通して、知識の習得と活用を図る構成となっている。 ・これまでの生活の確認や学習内容を深めるための資料とまとめの本文、生活に生かすための「活用」等により構成され、基礎的・基本的事項の理解を図りやすくする工夫が見られる。ふり返り欄はないが関連資料が充実している。	・課題解決学習を通して、知識の習得と活用を図る構成となっている。 ・本文が身近な年代の子どもたちの会話形式をとり、大人のキャラクターが説明を補完し、理解しやすく構成されている。 ・発展として、学習したことを生かして取り組む内容も取り上げられている。	・基礎的・基本的な知識及び技能を習得するための「つかむ」というコーナーが設けられ、学習視点が示され、書いてあることをよく読んで理解できる工夫がなされている。 ・学んだことを基にして考える活用コーナーが設けられており、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。	・「考えてみよう」「かつよう」の項目を設け、課題解決学習を通して、知識の習得と活用を図る構成となっている。 ・経験や日常生活のふり返り、話し合い、活用の3段階で構成されている。単元末の「学習のまとめ」では、項目ごとに自分の考えを書ける工夫がされており、学習内容の定着を促している。

	＜関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫＞ ○身近な生活における学習課題を発見し、健康・安全の大切さを学ぶ意欲を高めるために、どのような工夫がみられるか。	・単元はじめに、その単元で学ぶことが明示され、学習の見通しをもつことができるように工夫されている。導入から答えを表記するところが特徴的である。 ・身近な生活上の課題解決に役立つイラストやヒント、吹き出し、多様な学習方法が提示されるなど、学習意欲が維持されながら学習が進められるように工夫されている。	・単元はじめに、その単元で学ぶ内容に関連するイラストが示され、このイラストをきっかけに導入を行う工夫がある。教師がいろいろな観点で進められる資料となっている。 ・学んだことを自分の生活に照らし合わせて確認する「活用」コーナーが設定され、健康や安全に留意した生活に結びつくような工夫が見られる。	・単元はじめに、その単元で学ぶ内容に関連するイラスト等が大きく示され、それらを導入時に取り扱いながら見通しをもたせることで、主体的な学びに結びつくよう工夫がされている。 ・キャラクターが学習のヒントや重要なことを話しかけ、説明することで、親しみやすく、学びやすいように工夫されている。	・学習したことを活用してあてはめたり、見つけたり、伝えたりする活動が取り入れられ、主体的な学びにつながるよう工夫されている。 ・ページの下方に「知っておくためになる内容」として、その時間の学習に関連した身近な情報が提示されるなど、意欲を高めるための工夫がされている。	・単元はじめに、その単元で学ぶことが関連写真と共に明示され、意欲を高め、主体的な学習を促している。 ・場面ごとに様々なキャラクターを登場させアドバイスさせたり、疑問を語らせたり、同年代の会話や身近な事例等を掲載したりするなど、身近な健康・安全の問題としてとらえやすいように工夫されている。
	＜個に応じた指導のための工夫＞ ○発達の段階や個に応じた指導を充実させるための内容の取扱いについて、どのような工夫が見られるか。	・「広げよう」のコーナーを設定し、豊富な資料で発展的に学習を進められるよう配慮されている。 ・単元ごとの「学習をふり返ろう」では自分の生活を見つめ直し、書き出す活動により個に対応する工夫がされている。これからの実践力につながる可能性がある。	・単元末に「もっと知りたい」を設定し、ミニ知識と連動させながら学べる工夫がされている。 ・「やってみよう」「話合ってみよう」など活動的な学習から始めることにより個々の生活に照らし合わせるような工夫がされている。	・「やってみよう」のコーナーでは自分の考えに目を向けさせ、書くという表現活動が多く設けられている。 ・「つぶやきくん」コーナーでは更に詳しい情報が載せてあり、個への働きかけや発展学習へつなげる工夫がされている。	・「はってん」でより進んだ内容を取り上げ、自分の生活のチェックが具体的にできるなど個に応じたコーナーを設定する工夫をしている。 ・今日の課題(犯罪被害防止、地震・津波対策)を取り上げ、安全な環境づくりを写真で紹介し、自分たちの問題として考えるよう工夫されている。	・「もっと○ページ」で更に知りたい、調べたことを紹介し、個人の意欲・関心を高められる工夫がされている。 ・「かがくの目」「おうちで」「ちいきで」のコーナーがで詳しい説明や関連する情報を紹介し、それらを発展学習や個に応じた学習への配慮がされている。
3 構成・配 列・分量	○主体的な学習を促すうえで、発達の段階を踏まえた学習内容(教材の構成・配列や内容など)について、どのような特色があるか。	・児童の発達段階を考慮し、単元配列が系統的になされている。 ・課題を解決するための多様な学習方法を取り入れ、それを活用して理解を深める学習の流れを通して、主体的な学習が進められるようになっている。	・児童の発達段階を考慮し、単元配列が系統的になされている。 ・「やってみよう」「話合ってみよう」という課題解決の作業やキャラクターによる課題の補足や支援により、見通しをもって主体的な学習を進められるような構成となっている。	・児童の発達段階を考慮し、単元配列が系統的になされている。 ・イラストや写真・図表と組み合わせ、キャラクターの会話形式で学習活動が行われ、児童にとって親しみやすく、主体的な学習を進めやすい構成となっている。	・児童の発達段階を考慮し、単元配列が系統的になされている。 ・「習得」の部分(つかむ)と「活用」する部分(あてはめよう、見つけよう、つたえよう)を組み合わせで構成され、学習を主体的に進めることができる。	・児童の発達段階を考慮し、単元配列が系統的になされている。 ・多様な学習方法によって主体的に学習が進められるように工夫されている。 イラストや写真、詳しい説明や関連する情報を紹介し、それらを効果的に使うことで、主体的な学習を促している。
	○発達の段階に応じた文章、解説や例示、イラスト、写真等の取り扱いや分量について、どのような特色があるか。	・1単位時間の取り扱い量が2～4ページで学習の見通しが立てやすく構成され、資料等の分量も適切である。 ・課題を捉え、興味をもって学習に取り組みやすい資料が精選されているとともに、資料の解説が具体的でわかりやすい。情報量が発達段階に応じて多くなっている。	・1単位時間の取り扱い量が2～4ページで学習の見通しが立てやすく構成され、資料等の分量も適切である。 ・教科書内にシールを用意し、活動をしながら学ぶことができる工夫がある。主体的な学習を支援するための内容の文章や資料が示され、意欲をもって学習に取り組めるように工夫されている。	・1単位時間の取り扱い量が2～4ページで学習の見通しが立てやすく構成され、資料等の分量も適切である。 ・イラストや写真・図表と文章を組み合わせ、具体的でわかりやすい。文章は少なめで、本時の課題が示され、それに対して、本時の終盤には、そのまとめが記載されている。	・1単位時間の取り扱い量が2～4ページで学習の見通しが立てやすく構成され、資料等の分量も適切である。 ・イラストや写真を効果的に組み合わせで示し、実生活をイメージし、興味・関心をもって学習に取り組めるようにしてある。 イラストやその解説が丁寧で理解しやすく構成されている。	・1単位時間の取り扱い量が2～4ページで学習の見通しが立てやすく構成され、資料等の分量も適切である。 ・内容の理解を促す写真やイラストが使われ、文章も理解しやすい表現がされ、思考の手助けになっている。 ・イラストの人の表情が豊かで、写真の量が多く実際のイメージがつかみやすい。

4 表記・表現	○主体的な学習を促す上で、タイトルや学習課題の表し方、図やイラスト等の表し方に、どのような工夫が見られるか。	項目の隣に「学習の課題」というタイトルで、児童に問いかけるような表現で学習課題が統一的に掲載されている。 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザイン書体を採用すると共に、写真やイラストを多用して、主体的な学習を促している。写真の説明を加えて、知識を増やせるようになっている。	単元の最初には、2つの比較するイラストが多く掲載されている。児童に気づかせることで主体的につなげている。 イラストの保健室の先生・警察官・歯医者さん等により学習内容に関連したアドバイスが掲載されている。 カラーユニバーサルデザインを採用すると共に、イラスト等を多用し、主体的な学習を促している。	項目名の下に児童に問いかけるような表現で学習課題が統一的に明示されている。 本時のまとめ等に、黄色で強調された枠に文章が位置づけられ、理解を促すような表現上の工夫がされている。 イラストや学習キャラクターを多用し、呼びかけたり質問したりして、主体的な学習を促している。	項目名の下に、児童に活動を促すような文章等で課題が示されている。 学習に関するマークが明示されると共に、多用され、確実に理解しなければならない内容、学んだことを活用する場面などの区別が明確になっている。 イラストを多用して主体的な学習を促している。	項目名の下に「ここで学ぶこと」として学習課題が明示され、学習の見通しが持てるように工夫されている。 カラーユニバーサルデザインを採用し、表情豊かなイラストや理解を促すカラー写真などが多用されている。 同年代の児童の笑顔の写真を多用し、身近で明るい雰囲気を醸し出している。
	○発達段階に応じた文章、用語、記号等の表記については、どのような工夫が見られるか。	・重要用語の解説は、本文外のコーナーや別枠の資料により示し、理解を促す工夫がされている。 ・用語の文字を大きくし、見やすい工夫がある。イラストを多く多用し、単元の最初に添えるイラストも追加している。 ・当該学年以降に学習する漢字にはルビがふられ、理解を促す工夫がされている。	・重要用語の解説など、本文中に示し、さらに「資料」や「活用」といったコーナーを設けることにより、発達段階に応じた学習が進められるように工夫されている。 ・確実に覚えさせたい保健用語(例:精巣・卵巣)の言葉がやや小さい。 ・必要に応じて漢字にはルビがふられ、理解を促す工夫がされている。	・発達段階に応じて、文字の大きさや行間を配慮している。 ・重要文章や重要語句がゴシックの拡大文字で強調されている。 ・必要に応じて漢字にはルビがふられ、理解を促す工夫がされている。	・キャラクターの吹き出し、重要文書等へのゴシック体や色文字の使用、記号の多様化など、学習のポイントに気づきやすい工夫が見られる。 ・必要に応じて漢字にはルビがふられ、理解を促す工夫がされている。	・重要用語がゴシック体で見やすく標記されている。 ・当該学年以降に学習する漢字や重要用語にはルビがふられ、理解を促す工夫がされている。 ・中学年には大きく見やすい活字が採用されているなど、発達段階に考慮した工夫が見られる。
5 体裁、使用上の便宜	○装丁や体裁は、どのように配慮されているか。	・AB判で表紙には、クラフトの風景と男女の3Dキャラクターのカラー写真で印象的である。表紙のキャラクターは本文中にも登場し学習を導いている。 ・単元初めのページがカラー別で見やすくなっている。 ・裏表紙に保護者向けのコメントがあり工夫されている。 ・再生紙・植物油インキを使用している。 ・ユニバーサルデザインの表記がある。	・B5判カラーと黒タイトルで給食写真(3・4年生)と跳び箱イラスト(5・6年生)が使われている。食事と運動を前面に出した表紙となっている。 ・裏表紙には、呼びかけのキャッチコピーが健康への意識付けを深めている。 ・自分の生活や成長を確認するためのシールがページの中に綴じ込まれている。 ・ユニバーサルデザインの表記があり、抗菌処理をしている。	・A4判表紙、裏表紙とも全面写真で黒と白抜きタイトルを使用している。 ・緑の自然をバックにした男女5人の写真で生き生きと健康的な印象を醸し出している。 ・再生紙・植物油インキを使用している。	・B5判カラーの明るく健康的なイラスト表紙で健康についての呼びかけが書かれている。 ・図や写真をふくめ内容がブロックで区切られていて視覚的に理解しやすい工夫がされている。 ・再生紙・植物油インキを使用している。	・A4判でカラーイラストの表紙には、今日的な環境・福祉・地域の中で等身大の男女イラストが描かれている。 ・自分だけの教科書を作り出す工夫がされている。 ・単元別のカラーで縁取られたページの構成になっていて、単元の最初のページには、生き生きと活動する写真が使用されている。 ・奇数ページ右上にインデックスが表記されている。 ・環境に配慮した紙・インキ・印刷方法を使用している。
	○目次や資料など、使用上の便宜について、どのように配慮されているか。	・3年生～6年生までの目次が掲載されており系統性の見える設定になっている。 ・中学校保健体育へつなげる資料も掲載されている。 ・口絵には健康を考えていく上での課題が掲げられている。 ・単元末には「広げよう」「学習をふり返ろう」に詳細な資料が使われている。 ・教科書に出てくるマークの説明をつける配慮がある。	・目次には学習の進め方がチャート式で表示されている。 ・保健ゲームの紹介があり、答えは最終ページに掲載され、興味を引くように工夫されている。 ・単元のはじめは2枚のイラストを比べて考えさせる工夫がされている。 ・教科書に出てくるマークの説明をつける配慮がある。	・目次は文言を精選し、すっきりした印象で、植物の全面写真をバックに健康を求めて学習を始める期待を感じさせるページとなっている。 ・育ちゆく体とわたしでは、体力テストや生活習慣身の資料(平成23年)が使用されている。	・目次には学習の学びのマークが表示され、健康について考えさせるような問いかけが書かれている。 ・子どものイメージ写真が使用されている。 ・不安や悩み(2009年)、初経・精通(2012年)の棒グラフ・けがや事故の資料(平成23年)が使用されている。	・目次には活動する子どものイラストや写真が印象的に使用されている。 ・また、このページには、健康とは何かという根本に迫る問いかけがされている。 ・安全マップ・ポスターなど子ども自作の資料が多く親しみがある。 ・自然災害の資料が充実している。